

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	技術英語 1	
科目基礎情報							
科目番号	0007			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	海上輸送システム工学専攻			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	『Exploring SciTech English』奥村信彦ほか（開隆堂）						
担当教員	野口 隆						
到達目標							
技術英語に用いられる語彙や表現法を学習し、専門分野に関連する論文や、英文マニュアル、ホームページなどを読みこなし、それを元に自分から発信していく力をつける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 毎分120語程度の速度の英語の内容を聴いて理解できる。		目標の速度の英語を正確に理解できる。		目標の速度の英語を十分に理解できる。		目標の速度の英語を理解できない。	
評価項目2 身近な内容や専門分野の基礎的な内容について表現できる。		詳細に表現できる。		十分に表現できる。		全く表現できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教養 C1 教養 C2 教養 D1 専門 E3							
教育方法等							
概要	技術英語に用いられる語彙や表現法を学習し、専門分野に関連する論文や、英文マニュアル、ホームページなどを読みこなし、それを元に自分から発信していく力をつける。						
授業の進め方・方法	授業前に教科書の内容は読んでいることを前提に授業を行う。 オーラル・イントロダクションを兼ねて内容を理解しているかどうかの確認のために英語による Q&A を行う。 教科書の内容について音読、要約、ディスカッションなどを行う。						
注意点	辞書は必ず持参すること。 1 単位あたり 30 時間の自学自習を必要とする。						
実務経験のある教員による授業科目							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス／学習方法・方略		本講義の目的と学習方法・方略を理解することができる。		
		2週	Unit 1 Fly Your Plane		口頭での英語の指示に従って紙飛行機を折ることができる。		
		3週	Unit 1 Fly Your Plane		飛行機が飛ぶ仕組みを英語で説明できる。		
		4週	Unit 1 Fly Your Plane		英文の説明を読んでジェットエンジンの原理の実験を行うことができる。		
		5週	Unit 2 The History of QR Code		80語程度の英文を許容範囲の発音・イントネーションで40秒で読むことができる。		
		6週	Unit 2 The History of QR Code		本文を読んでQRコードの歴史を英語でまとめることができる。		
		7週	Unit 3 Codes and Ciphers		英文の説明を読んで正しく暗号を解読することができる。		
		8週	Unit 4 Can robots Be Good Companions?		我々の生活の中で使われるロボットの利点と欠点について英語で話し合うことができる。		
	2ndQ	9週	Unit 4 Can robots Be Good Companions?		social robotsについて本文に即して英語で説明できる。		
		10週	Unit 5 Laterality: Left-handed vs. Right-handed		右利き、左利きの利点について英語で話し合うことができる。		
		11週	Unit 5 Laterality: Left-handed vs. Right-handed		口頭での英語の指示に従って行動することができる。		
		12週	Unit 5 Laterality: Left-handed vs. Right-handed		Swan Neck Penについて本文に即して英語で説明できる。		
		13週	Unit 6 The Challenger Disaster		本文の内容に即してチャレンジャーの事故を時系列に沿って説明できる。		
		14週	Unit 6 The Challenger Disaster		本文の内容に即してチャレンジャーの事故原因を英文にまとめることができる。		
		15週	Unit 6 The Challenger Disaster		本文の内容に即して技術者の責任について自分の意見を述べることができる。		
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---